



Rainbow letter

2017.8
No.11

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

<<次回学術集会開催予定>>

第14回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

「こころも、視る。」

日時 2017年10月28日(土)・29日(日)

場所 大分県医師会館

(〒870-8563 大分市大字駄原2892の1)

会長 佐藤 昌司

(大分県立病院総合周産期母子医療センター所長・産科部長)

魅惑の大分④

「車いすマラソン」

1981年の国際障害者年を記念して、世界で初めての「車いすだけのマラソンの国際大会」としてスタートした大会です。

時速50kmの疾走は勇気と感動を与えてくれます。学会場正面がマラソンコースです！



- ◆プログラムが決まりました！
- ◆一般演題募集は7月31日で締め切りました。
- ◆引き続き、事前参加申込みは受付中です。

→→→

第14回学術集会Webサイト
<http://jspmh14.umin.jp/>
を御覧ください



<産科診療ガイドラインへの周産期メンタルヘルス対策の追加・改定について>

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会の共同編集による「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2017」が本年4月に出版されました。今回の改定作業の中で新たに周産期メンタルヘルスに目を向けたCQ&Aが追加・改定されました。

最近の周産期メンタルヘルスに関する大きな話題として、2014年に産後1年まで含めた産後うつを中心とした妊産婦うつによる自殺が全国レベルで年間約50名に試算されることが報告され、わが国においても産後うつが妊産婦死亡の主要因の一つとなることが実証されました。わが国では、これをきっかけに周産期メンタルヘルスの重要性が大きく認知されるようになりました。本学会においても周産期メンタルヘルスに対する具体的な対策を示す必要性を重要視し、折しも日本産婦人科医会の木下勝之会長も周産期メンタルヘルスの重要性を指摘されており、2015年4月、当時の日本産科婦人科学会周産期委員会委員長である竹田省先生を中心に「妊産婦メンタルヘルスに関する合同会議」を立ち上げる運びとなりました。本学会(岡野禎治理事長ら3名)、日本産科婦人科学会(3名)、日本産婦人科医会(岡井崇先生ら3名)による合同委員会が作られ、2015年度に計4回の合同会議が開催され、産後うつ病のリスク因子のsystematic reviewを含め、産後うつのスクリーニングの方法や時期、ハイリスク者に対する介入法に関する検討を行うこととなり、一気に産科診療ガイドラインのたたき台を作成し、ガイドライン作成委員長の板倉敦夫先生の指導も頂き、コンセンサス会議やパブコメのステップを踏み、今回の改定産科診療ガイドラインに掲載される運びとなりました。また余談にはなりますが、産後の妊産婦死亡に関し、死亡診断書では妊娠と関連する疾患の死亡を特定できない問題点があったため、把握強化目的で平成29年度版の死亡診断書記入マニュアルでは、妊婦又は出産後1年未満の産婦が死亡した場合の具体的な記入法が示されるに至りました。

このように、複数の学会等が合同会議を持ち、ガイドラインを作成することは、他領域でもなされ始めており、極めて有益かつ重要なことであると思います。今回の産科診療ガイドラインへの周産期メンタルヘルス対策の追加改定は、まさに最近のわが国の母子を取り巻く環境の変化を見据えたタイムリーな偉業のひとつであり、作成に携われた先生方のご尽力に敬意を表します。
(理事/杉山隆/愛媛大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座教授)

<シリーズ・委員会活動紹介> 第3回・倫理委員会

臨床研究に関わる倫理と利益相反指針(COI)を担当しており、当学会の倫理規定とCOI指針の作成に携わっています。現在の委員構成ですが、西郡秀和(委員長)、春名めぐみ(副委員長)、小澤千恵(委員)、牧野真太郎(委員)の4名となっています。

この領域を取りまく規定は近年さらに厳しくなっており、「個人情報保護に関する法律」の改正等を踏まえて、平成29年5月30日から【人を対象とする医学系研究に関する倫理指針】や【ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針】等が改正され施行されました。当委員会においても、これらの指針に準じて、適切に対応していきます。会員の皆さまにおかれましても、指針をご理解いただき、学術集会や機関誌の投稿等の際に留意していただくようお願い申し上げます。

これら倫理等に関する諸手続きは、学術活動を萎縮させるものではなく、第三者の適正な監視システムの下で、その発展を推進し保護するための制度です。このためにも各機関におかれましても、現場の負担を軽減しながら申請書類を迅速かつ適正に作成、承認するための機能の充実を推進していただく必要があります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。
(倫理委員会委員長・理事/西郡秀和/東北大学病院周産母子センター准教授)

((投稿記事募集!))

会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。詳しくは学会Webサイト(→QRコード、<http://pmh.jp/index.html>)または、学会事務局(mental-3@hac.mie-u.ac.jp)まで。

*企画・発行:日本周産期メンタルヘルス学会 事務局・情報関連委員会

